

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電子情報3年	科目コード	37000231
科目名	現代社会 Social Studies				
担当教員	鬼頭 葉子				
単位数(時間数)	必修 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応		(A-1)	
授業の目的と概要	本授業では、現代社会が抱える政治・経済・社会に関する諸問題を取り上げ、それらの問題が持つ「思想的背景」にも注目して学びます。				
先修科目	日本史				
後修科目					
備考					
	授業項目	時間	内容		
1	イントロダクション, わたしと法(1)	2	講義の進め方・成績評価の仕方について 人が見ていなければ悪いことをしてもよい? -法の成り立ち-		
2	わたしと法(2)	2	法を守るのは誰? -立憲主義-		
3	わたしと法(3)	2	権利か義務か? -日本国憲法1-		
4	わたしと法(4)	2	自由と平等 -日本国憲法2-		
5	わたしと法(5)	2	「人権」は誰が決める? -国際連合と国際人権規約-		
6	わたしと経済(1)	2	自由競争はフェアなのか? -新自由主義経済-		
7	わたしと経済(2)	2	なぜ税金を払うのか? -再分配の正義-		
8	わたしと経済(3)	2	貧困はだれのせい? -資本主義と格差-		
9	わたしと経済(4)	2	多国籍企業の正義とは? -グローバル化と格差-		
10	わたしと社会(1)	2	働くのは何のため? -労働者の権利-		
11	わたしと社会(2)	2	「バリアフリー」がいい? -福祉社会-		
12	わたしと社会(3)	2	「ニート」は努力不足なの? -若年者の労働問題-		
13	わたしと社会(4)	2	男は仕事, 女は育児? -ダイバーシティ-		
14	わたしと社会(5)	2	「市民」か「よそ者」か? -多様な他者との共生-		
15	わたしと社会(6)	2	世界最凶の生物は人間か? -環境問題と持続可能社会-		
<b>前期期末試験</b>					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	本授業では、現代社会における問題や日常の出来事を取り上げ、それらについて「自分で考える」ことを習得します。教師が「これが正しい答えだ」と教えることよりも、皆さん自身が、様々な事柄に関して、自分なりの理由に基づいて「わたしはこう思う」と主張できるよう、「考える方法」を提示していきます。倫理学や社会哲学と呼ばれる学問をベースにしなが、政治・経済・環境問題や労働問題などについて学びを進めます。映像や映画なども教材に用います。皆さんは日頃から多量の情報に接しています。その中で様々な社会問題に関して「自分はこのような理由から、こう考える」と論理的に自分の考えを述べることはより困難な状況にあるでしょう。多くの人が「当たり前だ」と口を揃える常識や、メディアやインターネット上で主張される事柄をうのみにするのではなく、それらを批判的かつ建設的に理解できるよう、情報リテラシーを身に付ける目的も有しています。				
成績評価	原則として1回の中間レポートと1回の学期末試験で学習・教育目標のA-1を評価し、60%以上の得点で合格とする。				
教材	教科書(『現代社会』(東京書籍))および授業で配布するプリントを使用する。その他、参考図書類は授業中に指示する。				
オフィスアワー	水曜日14:30~16:00, 管理・一般科棟3F西 鬼頭葉子教員室。面談日時は、伝言メモ(研究室ドア横)やメールでの事前連絡によって調整する。				